

経常的研究交流委員会企画シンポジウム

11月29日(日)15:00～17:00

講義棟 4 階 4602 講義室

非言語コミュニケーションと個人差, パーソナリティ

話題提供者 上 出 寛 子 (大阪大学)
登 張 真 稲 (白百合女子大学)
山 本 恭 子 (神戸学院大学)

指定討論者 大 坊 郁 夫 (大阪大学)

司 会 文 野 洋 (浜松学院大学)

概 要

非言語コミュニケーションは、言語コミュニケーションとともに、他者とのさまざまな相互作用のあり方を規定する。一方で、パーソナリティは、言語コミュニケーションと同様に、非言語コミュニケーションにおいても、伝達内容の記号化や解読の過程の個体の要因として想定されている。それでは、パーソナリティと非言語コミュニケーションとの関係はどのようにとらえることができるだろうか。

実際の研究においては、非言語コミュニケーションに与える個体の要因は、パーソナリティよりもむしろ社会的スキルなどの個人差が扱われることが多い。非言語コミュニケーションと個人差との関連を明らかにすることは、そこでのパーソナリティの位置づけに対しても見通しを与えるだろう。

本シンポジウムでは、非言語コミュニケーションのなかでもとくに表情の表出や読みとりに焦点をあてる。各話題提供者から関連する研究をご報告いただき、非言語コミュニケーションに個人差やパーソナリティがどのように関わっているのかについて、参加者の方々とともに議論していきたい。